



こども家庭センターのスタッフが子育てについての情報を発信していきます！

今月のトピック

里親制度をもっと知りたい方へ オンライン説明会

問 氷川町こども家庭センター ☎0965-62-3456

里親について知りたい、聞いてみたいという人はオンライン（Zoom）で聞くことができます。気がかりなこと、疑問に思っていることなどお気軽におたずねください。「里親支援センターゆりの会」のスタッフが丁寧に説明します。

オンライン説明会

- ・日時 毎月第1木曜日
10時～17時（1時間程度）
- ・方法 Zoom
- ・費用 無料
- ・お問い合わせ

里親支援センターゆり

☎：096-234-8967

メール：mail@yuurinokai.com

説明会の

申し込みはこちら▶



共働きでも
できるかな？

実子がいても
いいの？

里親について
知りたい

？



？

ホームページで子育て支援センターからのおたよりを配信中！

おたよりは
こちら！

町ホームページ▶



おたよりが出たら
お知らせします

町公式LINE▶



町民文芸

投稿先 〒869-4814 氷川町島地642番地 企画財政課宛（毎月5日必着）

短歌

鶴が二羽令和の米を心配してか
青田の中を立ち歩きする

西上宮 廣瀬 小亀

一粒のやがて激しい雨になり

西上宮 廣瀬 小亀

彩る紫陽花「尚」鮮む

西野津 古崎 栄子

木よう日老いも集いて一、二、三

筋トレ脳トレ笑いごまかす

つれづれなるまゝに折鶴進めをり

今五百余羽千羽達成命あれかし（93歳）

西上宮 廣松 真実子

百日紅赫々と揺れ夕暮の

雨よぶ雲を待ちこがれけり

北野津 井田 道寛

俳句

西空に見えたげなばいきのこ雲

西上宮 山下 環

家庭菜園のモロッコ豆に手応え感

西上宮 廣瀬 小亀

夏帽子つばの傾く南風強し

西野津 古崎 栄子

田植え機のあつちこつちに音高し

西野津 古崎 スエノ

産上の木々つやめきて春惜しむ

西上宮 廣松 真実子

ででむしや太古の渦を背負ひ這ふ

北野津 井田 道寛

『金閣寺燃ゆる』

三島由紀夫「金閣寺」から その9

法道寺 本田 花風

しかし「有為子」の存在はこの小説にとつて大きな役割であろうから或る程度ひもとかねばならない。まず名前の「有為」は、仏教でいえば、因縁によって生じた生滅（生まれと死）・変化してやまない現実のありさまをいい、一般的には、能力があること、役に立つことであるが、三島の命名の根拠は明らかに前者であろう。また作品の有為子の存在については読者の見解は様々というより多様な見解が示されている。

一説をひもとくと、主人公が一方的に恋焦がれるものの吃音という障害があり、有為子は極めて美人に描かれている。つまり、「醜と美」の構図をあらかじめ書いておき、後半の私（醜）と金閣寺（美）の伏線を張っておいたと考えられる。つまり金閣寺を人間の姿で表現したのが有為子であり、恋焦がれる者の絶対的な手の届かない存在、神聖な世界として描いたといえる。

実際「美しいもの」を主人公が見た時に、そこに有為子の姿が重なるという表現がいくつか出てくる。彼女が恋人のところへ走ろうとして射殺されてしまうのも、滅びの中に「美」を見出すからであり、有為子の死は最後の金閣寺炎上と作品の最初と最後でつながっているといえます。

金閣寺は放火事件をモデルにした犯罪小説というより「女性コンプレックスの克服」がテーマであり三島の隠された告白であることが垣間見える。『金閣寺』の基本構図は、主人公が自身の過去を振り返って告発するという設定で、この手法は『仮面の告白』の構図に似ていることが指摘されている。

人が尊重され、
生きがいを感じられるあたたかい町

人権啓発コーナー

問 生涯学習課 ☎0965-52-5860

毎月11日は

「人権を確かめあう日」

毎月11日は「人権を確かめあう日」です。平成元年4月に奈良県市町村人権・同和問題啓発活動推進本部が提唱してはじまった活動です。同和対策審議会答申が出された昭和40年8月11日を記念として、「11日」を「人権を確かめあう日」とされました。「11」は、「1（ひと）」「1（ひと）」とも読めます。横にすると「11（イコール）」にもなります。ここから、「人は等しい」が生まれまします。

人は誰もが人間として尊重され
幸せな生活を送りたいと願っています。
しかし、知らず知らずのう

ちに、自分が使っている言葉で人を傷つけたり、いやな思いをさせていることもあります。差別は他人の問題ではなく自分自身の問題です。「毎月11日」に、自分自身の言動を振り返るなど、一人ひとりが人権意識を高めましょう。また、毎月11日午後1時30分から氷川町文化センター（ロビー）で町民の皆様を対象に、人権に関する動画（web）を放映しています。皆さんの参加をお待ちしています。



毎月11日は人権を確かめあう日です

人権に関する動画を放映します。
皆さんの参加をお待ちしています。

■ テーマ

「いのちをいただく」

■ 日 時 8月8日(金) 13時30分

■ 場 所 氷川町文化センター ロビー

八火図書館だより

☎0965-62-3489

立秋を前にして、まだまだ暑い日が続いています。

子どもたちは夏休みの真っ最中ですが、図書館では子ども向けの自由研究や工作に役立つ本、読書感想文、感想画の指定図書をはじめ、大人の方々も楽しんでいただける話題の本や趣味の本を揃えています。

ぜひ、ご家族みなさんでご利用ください。



新着図書紹介

■ 一般書

珈琲怪談 / 恩田 陸

世界 99 上・下 / 村田 沙耶香

毎日読みます / ファン ボルム

季節が好きなわたしとマダム / にいざか にいこ

■ 児童書

アラコ刑事 / IQGM

ただいまねこ / ミヤザー ナツ

大ピンチずかん 3 / 鈴木 のりたけ

消えたモナ・リザ / ニコラス・デイ

おすすめ図書

『昭和100年の100人』

リーダー篇・スタア篇・文化人篇

／ 文藝春秋

今年（2025）年は、昭和100年ということで、肉親・親友・側近が見たリーダーたちの素顔、スタアが心を許した人だけに見せた知られざる一面、国境を越えて日本の文化を担った個性に溢れた先人など、それぞれの昭和時代に活躍された100人について回想してみたいかがでしょうか。



おすすめ図書

資源の有効活用を図るため、リサイクルフェアを開催します。役目を終えた本や雑誌を、無償で皆さまにお譲りします。期間は8月2日④から2週間を予定しています。無くなり次第終了いたします。